

県総体

バレーボール部

6月3日(土)より、加古川市立総合体育館で始まりまし。

1回戦は尼崎西に2対0、2回戦は姫路商に2対0で、勝利しました。

翌日に3回戦が行われ、対戦校は前大会で敗れた須磨友が丘でした。

大会前から雪辱に燃えて挑みました。1セット目を先取されるも、2セット目を取り返し、最終セットでは28対26と、もつれにもつれながらも、勝利しました。

続く4回戦、東播磨には最後まで競り合いながら、2セットとも3点差で、惜しくも敗れてしまいました。

この試合が翌日なら、心身の疲労を回復してから臨めたのですが、ベスト16となりました。



近畿大会とビーチバレーで、この悔しさを晴らしてほしいものです。

登録メンバーは、3年堀川貴之(神戸市立井吹台中)、奥重修斗(同神戸生田中)、寺尾友吾(西脇市立西脇南中)、石橋直樹(西宮市立浜脇中)、張優希(神戸中華同文中)、三宅天也(加古川市立氷丘中)、神田一輝(福崎町立福崎東中)、岡本大輝(播磨町立播磨中)、太田涼介(同中)、2年山本瑛太(明石市立二見中)、小林優斗(西宮市立浜甲子園中)、畑本悠次(神戸市立須佐野中)、菅井晴翔(加古川市立神吉中)、1年牧仁太(神戸市立兵庫中)、でした。

柔道部

6月9日(金)から3日間の予定で、高砂市総合体育館で行われました。

女子団体は、1回戦は淡路三原に2対0で勝利し、2回戦播磨農業に3対0で勝利しましたが、準々決勝で2位になった兵庫商業に0対3で敗れて、ベスト8となりました。



登録メンバーは、3年森野々香(加古川市立加古川中)、松本弥優(神戸市立丸山中)、2年岩山妃紗(伊丹市立北中)でした。

男子団体は、1回戦は、市立尼崎に4対0、2回戦津名に4対1、3回戦高砂南に5対0、準々決勝神戸

科技に3対1で勝利し、準決勝で育英に2対3で敗れ、3位となりました。

登録メンバーは、3年岩野光貴(赤穂市立赤穂東中)、戸田将太(神戸市立井吹台中)、2年大原涼馬(明石市立望海中)、顕徳大晴(同中)、加納怜治(姫路市立灘中)、小西貴大(明石市立野々池中)、高橋寛多(小野市立小野中)でした。

男子個人は、60kg級優勝顕徳大晴、ベスト16池田真優希(3年神戸市立兵庫中)、66kg級5位渋谷駿斗(3年同玉津中)、73kg級3位高橋寛多、90kg級3位岩野光貴、戸田将太、100kg級ベスト16阪本龍星(1年伊丹市立天王寺川中)、100kg級3位大原涼馬という結果でした。

個人戦で上位に進出したこの9名は、7月1日(土)に県立武道館で行われる県民体育大会に出場します。

ちょっと一言 メンタルの強さとは、身体を極限にまで追い込んで「痛みを感じない」ということではない。メンタルの力とは、持てる力をフルに発揮できるような決断をする力のことだ。事に臨んでリスクを感じ、チャンスを逃すことがある。リスクを承知で挑戦しなければ、何も得ることはできない。リスクがあるのを知って挑戦するのは、無謀なギャンブルではない。情報を集め、検証して判断し、進めるべきだ。成功は転がり込んでくるものではない。自分で追い求めるものである。本を読んだだけではメンタルは強くならない。身体を鍛えなければ体力が衰える。こころも同じで、訓練が必要だ。